

手をつなごう2010

岡山県立東備支援学校
支援部だよりNO. 6

東備支援学校

支援部講座

本校の特別支援教育のセンター的機能の取り組みの一環として、支援部夏季特別企画に続き、支援部講座を開催しました。

演題「不登校児童生徒の理解と対応」

＜講師＞もろおかクリニック

副院長（小児科医師）

諸岡 美知子 氏

元 旭川療育センター児童院 院長代理

元 おかやま発達障害者支援センター所長

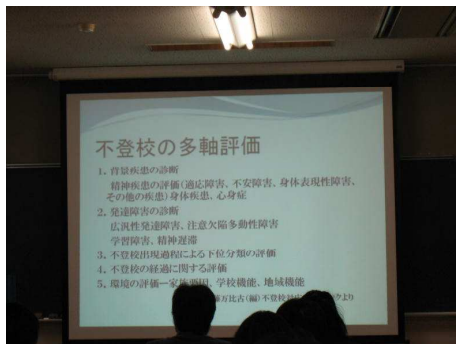
＜会場＞東備支援学校

＜対象＞幼稚園、保育園、小・中学校・高等学校の教職員



これまで主に生徒指導の視点から取り上げられてきた不登校の問題を医学的側面で評価、原因、診断、そして症例から詳しく教えていただき、理解を深めることができました。

不登校の子どもたちに対して、その特性を理解し、精神的安定への配慮点や工夫、環境調整など、発達障害への適切な対応を見直し、医療をはじめ他機関との連携を基盤として、それぞれのライフステージで学校の果たすべき役割を担っていくことの大切さを再確認いたしました。



アンケートより

- ・ **地元の医療機関との連携が大切**ですが、諸岡先生には日頃から大変お世話になっています。今日は、直接お話が伺え大変参考になりました。
- ・ **不登校を特別支援の視点で考える**ことができ、また違った見方ができるようになりました。
- ・ 児童の**具体的な対処の仕方**を話してくださり、今後の参考になりました。
- ・ 子どもの発達にとって必要な対処の方法を**医療と担任で探り連携していく**ことが大切だと思いました。
- ・ がんばらせるのではなく、**安心感と達成感**をもたせることの大切さが分かりました。
- ・ 個を理解するということは分かっていますが、集団の中では行動を抑止していくことがあり十分に配慮できていなかったように思います。今後は、**共感性をはぐくみ、攻撃性を和らげる努力**をしていきたいと思っています。
- ・ 近年、支援の必要な子どもが増えているのは、様々な”環境”が変わってきたこともあるような気がします。子どもたちに求めることが高すぎる気もします。我々が子どものとき受けてきた**人間愛**が大切なのだと思います。いろいろと考えることができ感謝しています。